



畜産研通信

平成26年度第2号

岐阜県畜産研究所の情報発信誌

～研究成果発表会「ふれあい報告会」のご案内～

畜産研究所の研究成果発表会である「ふれあい報告会」を下記のとおり開催します。

午前の部では各研究部の研究成果の報告を、午後の部の講演会においては、東京大学 ^{まえた}前多

^{けいいちろう}敬一郎教授にご講演いただきます。多数参加いただきますようお願いします。

記

- 1 日時 平成26年11月7日（金） 10:00～15:00
- 2 場所 岐阜県可茂総合庁舎 大会議室
（美濃加茂市古井町下古井2610-1 電話0574-25-3111）
- 3 参加者 畜産農家、畜産関係団体職員等 約160名
- 4 内容
（1）研究成果報告 10:00～12:00

「黒毛和種肥育牛への飼料用米給与について」

飛騨牛研究部 ^{たけだ}武田 ^{けんじ}賢治 主任研究員

「抗酸化物質の給与がホルスタイン初産牛の繁殖成績等に及ぼす影響について」

酪農研究部 ^{はやし}林 ^{のぼる}登 主任専門研究員

「豚への飼料用米給与による、低コストな環境負荷低減技術」

養豚・養鶏研究部 ^{おがわ}小川 ^{みきお}幹夫 専門研究員

「卵用奥美濃古地鶏の産卵能力の推移について」

養豚・養鶏研究部 ^{よこやま}横山 ^{いくよ}郁代 専門研究員

(2) 講演会 13:00～15:00

「繁殖機能を制御する脳のメカニズム」

家畜の繁殖効率の向上に向けたトランスレーショナルリサーチ」

東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻獣医繁殖育種学研究室

前多 敬一郎 教授

◆研究成果報告の概要

「黒毛和種肥育牛への飼料用米給与について」 飛騨牛研究部

飼料用米は、水田の有効活用や国産穀物飼料として注目され生産拡大が図られるとともに、肥育牛での利用についても推進されているところです。そこで、肥育牛への飼料用米給与技術の確立に向け、粳米を50～60%配合した飼料の給与が肥育成績に及ぼす影響について検討しましたので報告します。

「抗酸化物質の給与がホルスタイン初産牛の繁殖成績等に及ぼす影響について」 酪農研究部

近年乳牛の泌乳能力は飛躍的に向上していますが、一方で繁殖成績は年々低下しています。この原因の一つとして、高泌乳に伴う酸化ストレスの増大が考えられるため、酸化ストレスの緩和を目的に分娩前後に抗酸化物質（アスタキサンチン、セレン、ビタミン）を給与し、繁殖成績等に及ぼす影響について検討しましたので、その結果を報告します。

「豚への飼料用米給与による、低コストな環境負荷低減技術」 養豚・養鶏研究部

飼料用米を利用して設計した、低蛋白、高繊維質飼料を肥育豚に給与することで、豚の発育を維持しながら、養豚農家が直面している環境汚染の原因となる尿中への窒素排出量の低減技術を紹介します。

「卵用奥美濃古地鶏の産卵能力の推移について」 養豚・養鶏研究部

卵用奥美濃古地鶏は岐阜地鶏を活用した特産鶏として平成4年に畜産研究所が開発した鶏で、岐阜地鶏の雄とロトアイントレット種の雌を交配し作出しました。今回、これまで取り組んできた当該鶏の産卵能力や卵品質の向上のための改良の推移と現状を紹介します。

畜産研究所ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- | | | |
|------------------|------------------|--|
| □ 飛騨牛研究部 | 506-0101 | 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 |
| Tel 0577-68-2226 | Fax 0577-68-2227 | Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp |
| □ 酪農研究部 | 509-7601 | 恵那市山岡町久保原 |
| Tel 0573-56-2769 | Fax 0573-56-2974 | Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp |
| □ 養豚・養鶏研究部 | 505-0037 | 美濃加茂市前平町 3-8 |
| Tel 0574-25-2185 | Fax 0574-28-4132 | Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp |
| □ 養豚・養鶏研究部関試験地 | 501-3924 | 関市迫間 2672-1 |
| Tel 0575-22-3165 | Fax 0575-22-3164 | Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp |